

日ごとに寒くなってまいりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。
今号では、2008年度の全国の養成セミナー開催状況など、新着情報をお届けいたします。

◆2008年度全国思春期ピアカウンセラー養成セミナー開催状況◆

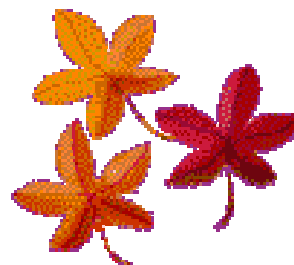
都道府県	開催日程	養成人数
北海道	平成20年10月11・12日、25・26日	10人
青森県・秋田県	平成20年8月2・3日、9・10日	18人
岩手県	平成20年7月12・13日、26・27日 フォロー：平成21年1月10・11日	35人
山形県	平成20年6月7日・8日、15日、29日 フォロー：栃木県と合同開催	16人
福島県	平成20年6月28・29日、7月5・6日 平成20年10月4・5日、11・12日 フォロー：平成21年3月7・8日	15人 14人
栃木県	平成20年8月1日～4日 フォロー：平成20年11月29・30日	48人
群馬県	平成20年6月28・29日、7月5・6日 フォロー：平成21年2月14・15日	32人
長野県	平成20年8月9日～12日 平成20年8月26日～29日	33人 13人
奈良県	平成20年9月14・15日・10月4・5日 フォロー：平成21年2月8日、11日	9人
兵庫県	平成20年6月14・15日、21・22日 フォロー：平成21年2月7・8日	55人
鳥取県	平成20年5月31日、6月1日、6月7・8日 フォロー：平成20年11月22・23日	15人
岡山県	平成20年8月29～9月1日	13人
香川県	平成20年8月27～30日	23人
高知県	今年度未開催	—
福岡県	平成20年9月20日～23日	6人
佐賀県	今年度未開催	6人
熊本県・宮崎県	平成20年9月21日～24日	14人
鹿児島県	平成20年9月10～13日	11人
沖縄県	今年度未開催	—
2008年度に養成されたピアカウンセラーの合計		386人

◆ 第3回ピアカウンセラー養成者認定・ブラッシュアップセミナー開催◆

去る10月25～26日、東京都新宿区の保健会館において、第3回ピアカウンセラー養成者認定・ブラッシュアップセミナーが開催されました。今回の認定試験では3期生の養成研修生が中心となって模擬授業を実施し、新たに8名の認定講師が誕生しました。今回の認定で、本研究会認定講師は35名となりました。

第3回ピアカウンセラー養成者認定・ブラッシュアップセミナーに参加して

静岡県 山本貴美



平成20年10月25日・26日と東京都新宿区にあります「保健会館新館」を会場に標記セミナーが開かれました。

思えば、ここにたどり着くまでの長い道のりがありました。養護教諭としての職にあるとき、「うん、うん、そーか」と聴くことに気を付けていても、話の最後は「〇〇してみようね」と一緒に行動する「親ころ」、上から目線、大人の視線での対応でした。

何かが違う、見えない壁がある。気持ちを考えて話していても、誘導し、指示している自分がいました。そんな折、思春期ピアカウンセリングの事業展開の講義と出会い、この方法もあるんだ！の感動を覚え、勉強してみようと始めました。始めたものの、環境的なことと思うようには進まず、周りからぼんやりとみている状態が続きました。数年後、静岡県でのリプロ研究会の仲間からの刺激に、いかに思春期の人たちの現状を知らないで仕事をしてきたかを思い知らされました。

平成16年度、教育委員会が主催して静岡県でも「ピアカウンセラー養成講座」が行われるようになりました。初年度に興味を持って参観したものの緻密なプログラムになかなかついていけません。性=生の自己決定能力を育む教育、同世代に生きる価値観を共感・共有する「仲間」による「仲間健康教育」に共感しながらも、その本質を捉えることができませんでした。

マニュアル本を読んでもスムーズにイメージ化出来ません。それだけ思春期の人とのかけ離れた年齢を感じました。養成者の「ころ」を知りたい、そんな安易な気持ちで「養成者養成セミナー」前期（4泊5日）後期（1泊2日）に参加しました。その間、他県で開催された実際の養成セミナーも見学研修させていただきました。まずは、自分自身が「無=白紙」の状態です。思春期の人たちの気持ちの中に入ることに、内から見ながら、横並びになることを学びました。高村先生を始めご指導くださる先生方の一言一言があたたかく伝わって来ました。最後の関門であるこの認定セミナーには、出会った多くの方々の刺激があり受講に踏み切りました。基本であると思うカウンセリングのスキルを確認したいと「感情と向き合うスキル」にあえて挑戦しましたが、その事前準備には悩みました。系統立てた養成の質への理解がまだまだ浅いのです。しかし、ここでも模擬授業実施後の個人面談で、前向きなあたたかなアドバイスをいただき、「研究会」に相談すれば、いつでも適切な

指導をいただけるんだと分かりました。共に活動して下さった自治のびあっこから、笑顔と模擬授業への細かな評価をいただき、ますますびあ活動が好きになりました。互いに研鑽しあうブラッシュアップ研修はびあ活動を続けていく上に無くてはならない大切なものとなっています。輝く「認定証」を胸に、また参加していきたいと思います。
ありがとうございました。



ピアカウンセラー養成者認定・ブラッシュアップセミナーに参加して

中原 國子

プログラムの進行について、養成者の認定（第1日目）とブラッシュアップ（第2日目）がハッキリしていたので、自分が今何を何のために学んでいるのかがわかりやすかったと感じています。模擬授業では、養成者がカリキュラムの本筋を理解し、オリジナルな教材を取り入れ工夫されていた面もあり参考になりました。また、ピアっ子からの養成者に対する温かいメッセージ（心の柔軟性を持っている。仲間だよという目線に近い存在を感じた。ピアっ子の心に寄り添っていた）がこれからの活動について、さらに研鑽をつみ意欲を持って望みたいという前向きな気持ちを駆り立ててくれたのだと思います。

ブラッシュアップⅠのコ・カウンセリング実習では、リーとしてもラーとしても充実した時間（スキルアップが図れた）を持つことができました。Ⅱの海外の思春期保健の現状（高村先生）では、地図や映像で、北米、中南米の様子や取り組みについて理解できました。なかでも、長い内戦により終結した後も国民同士が信頼し合っていない状況の中で、アンが「私の夢」について書いてもらったところ「生きていてよかった。自分にはしたいことがあった」と人間としての喜び（人生の夢）に目覚めた若者が一生懸命学んでいる姿に深く感動しました。養成講座構築の再確認をしっかりと、継続した実践活動をしていきたいと思います。ありがとうございました。



◆第 27 回日本思春期学会学術集会において本研究会の研究が発表されました◆

第 27 回日本思春期学会学術集会に参加して

首都大学東京 健康福祉学部 安達久美子

平成 20 年 8 月 29 日、第 27 回日本思春期学会学術集会が開催されました。今年のメインテーマは、『今、求められる思春期支援を探る』であり、思春期の親子関係を主題としたブレングレスをはじめ、多様な視点からの発表がなされました。ピアカウンセリングに関連する演題は 6 演題であり、本会の高村・江角氏が「メキシコにおける思春期ピアリーダーによる健康なライフスタイルづくり活動」と題して、メキシコでのピアリーダーの養成に関する発表をされました。文化やおかれている環境は、わが国とは大きく異なりますが、若者の持つ力や若者が若者を支えていくというピアの視点は、世界共通であることを改めて認識しました。また、前田ひとみ・高村氏が、「高校生を対象とした大学生ピアカウンセラーによる思春期ピアエデュケーション講座の評価」と題して、5 県、618 人を対象とした調査結果を発表されました。ピアカウンセリングなどの活動の評価をしていくことは、活動の発展を支えていく上で、重要であり、今後も研究的な視点から調査を行っていくことが必要であると感じました。

今回の学会では、昨年度会員の皆様にも御協力をいただきました、子ども未来財団からの委託研究である「人工妊娠中絶を繰り返す思春期女子への再発予防方策と環境整備のあり方に関する研究」の成果を報告しました。10 代の人工妊娠中絶を実施した女性への調査の結果より、知識や情報の提供だけでなく、彼女たちが自ら問題解決をしていけるように彼女たちの視点に立って寄り添い支援していくことが必要であることがわかりました。この“自らの問題解決”“寄り添う姿勢”こそが、ピアカウンセリングのそのものであり、再発予防に向けてピアカウンセリングの考え方を取り入れていくことの有効性を感じました。今年度も引き続き本研究を継続しています。次年度の学会で成果を発表すべき準備をしていきたいと思えます。

<編集後記>

この夏、編集委員 S&S は、ピアっ子企画による 1 泊 2 日の「ピア強化合宿」に参加してきました。体育会系のノリでピアカウンセリングスキルの特訓でもするのかと思いきや、ピアっ子たちが強化したかったのはピアっ子同士、そして私たちとの「きずな」だったようです（笑）。

認定講師になられた皆様、おめでとうございます！全国の養成者が力を合わせ、これからもがんばっていきましょう（S&S）



日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1
自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門
電話 0285-58-7338
FAX 0285-44-7217
発行人 高村寿子 編集人 前田ひとみ
年3回発行 <http://www.jpcaea.net/>